

平成30年度2年生向け
ギャップタームに関する説明
(2018年2月5日)

2学期クォーター制を活用しよう！

ギャップターム：2年次第2クォーター＋夏休み

必修科目が無く自由に活動できる期間(6/12～9/30)

2学期クォーター制

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
前期						後期					
第1クォーター		第2クォーター		夏休み	第3クォーター		第4クォーター		春休み		

1 留学しやすくなる

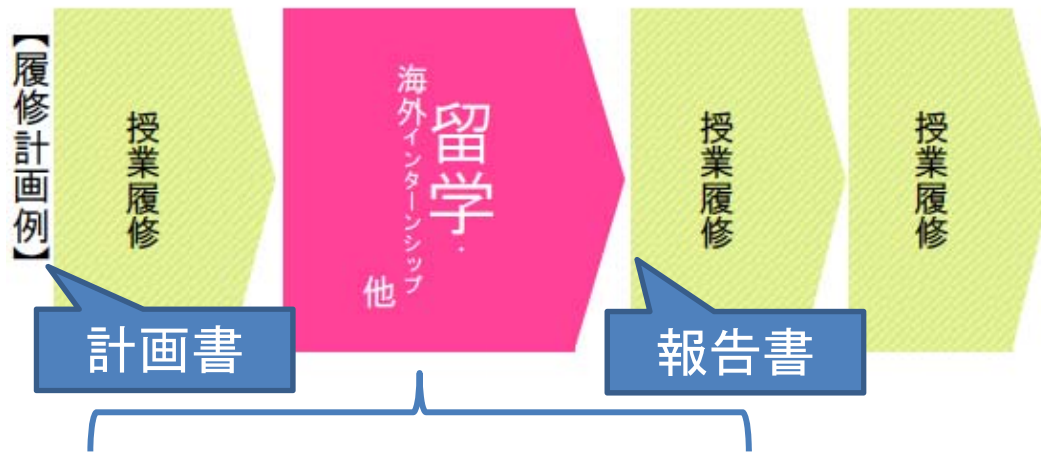
これまでは、学期途中で留学すると、その学期の単位を修得することは困難でした。しかし、2学期クォーター制では、1つのクォーターと休みの期間を組み合わせることで、在学したまま海外の大学のサマースクールや短期留学に参加した上、4年間で卒業することも可能となります。

2 多様な学外活動

まとまった時間を利用してボランティアやインターンシップに参加する等、4年間の大学生活でできることを選択肢が増えます。

3 集中的に学修

週1コマ8週の授業、あるいは週2コマ8週の授業により短期集中的に学修することができます。



神戸大学GCP, インターンシップ, 講演会・講習会への参加, 資格取得, その他学力向上のための取組.

ギャップターム計画書・報告書およびスケジュール

ギャップターム計画書＋ギャップターム報告書

- 第2Q開始前に計画書を, ギャップターム終了後に報告書を必ず提出すること.
- ギャップタームを無為に過ごした場合, ギャップターム以降の講義・実習や卒業研究で期待される効果が得られない.
- このため, 計画書および報告書を提出していない場合は, 4年進級時での研究分野配属で不利な評価になる場合がある.

スケジュール (変更される可能性があるため各種掲示板を確認してください)

3月26日～4月6日: 面談時にギャップターム計画書(案)を提出

4月6日～19日: 1Q・2Q履修登録期間

4月7日(昨年度): 課題解決型アクティブラーニング申込開始

3月下旬: 研究室インターンシップ申込開始～

5月中旬: **ギャップターム計画書(最終)提出締切.**

(計画書のコピーを提出すること. 本紙は報告書作成のためにもっておくこと.)

10月中旬: **ギャップターム報告書の提出**

ギャップターム開講科目(英語特別演習, 機械工学
インターンシップ)の単位認定申請

ギャップターム計画書

[1] 学籍番号 _____ 氏名 _____

[2] ギャップタームの目標

・企業インターンシップおよび研究室インターンシップを通して、機械工学の知識がどのように活かされるか体験する。

・TOEIC 700点突破

・プログラミング学習, JAVA を習得.

・日本一周することで機械工学の役割を学ぶ.

・バイクの車検を自力で通せるようになる.

Wordファイル, PDFは機械工学科HP
からダウンロード

[3] 計画概要

〇〇株式会社 インターンシップ (申込) (6月19日~23日)

〇〇研究室インターンシップ (申込) (8月予定)

TOIEC 受検 (7月23日)

高度教養科目〇〇〇 受講

機械工学概論 受講 (9月下旬)

ギャップチーム報告書

学籍番号

氏名

1. はじめに

A4レポート用紙

ギャップチームの達成目標，目的は何であったかなどを述べる．

2. 実施内容

目標，目的の達成のために何を行ったか．

3. 結果（・考察）

どのような成果が得られたか，またはその過程でどのような発見や知見が得られたか．

4. まとめ

ギャップチームでの活動を簡潔にまとめる．

ギャップターム期間に開講される科目

- 受講しなければならないわけではありません。
- 何をするか悩んだ場合参考にしてください。

- 神戸GCPプログラム
- 高度教養科目
- 課題解決型アクティブラーニング
- 機械工学概論
- 英語特別講義
- 機械工学インターンシップ

課題解決型アクティブラーニング

- ギャップタム(2年生第2クォーター)における自己啓発と工学を自ら学ぶ意識を高めるための体験型学習として、神戸市内及び近隣地区の中小企業において各企業の特徴・強みを学んだ上で、**企業が有する課題に対する自分なりの解決案を企業との議論を通して考える**課題解決型アクティブラーニングを少人数グループで実施する。
- 科目名:工学課題解決型アクティブラーニング
- 単位数:1単位
- 履修要件:その他必要と認める専門科目として卒業要件に算入

課題解決型アクティブラーニング

《実施スケジュール(昨年度)》

- 4月7日 申込開始
- 4月28日 申込締切
- 5月下旬 学生選抜結果の開示
- 6月初旬 事前指導とチャレンジシートの作成
- 6月～8月 各企業におけるアクティブラーニング実施
- 8月～9月 報告会

※注意事項

- ✓ 申請書を提出した後、大学側で履修登録を行いますので、各自で履修登録を行う必要はありません。
- ✓ 申込書に記載した企業に配属になるとは限りません。
- ✓ 課題解決型アクティブラーニングに参加するためには、事前に、**学生教育研究災害傷害保険(学研災)**と**インターンシップ等賠償責任保険(学研災付帯賠償責任保険)**に加入しておくことが必要です。加入申込みの用紙は教務学生係で受け取ることができます。
- ✓ 課題解決型アクティブラーニングに応募する際は、申込書を印刷して教務学生係に提出して下さい。

機械工学概論

- 開講期間:9月下旬の期間にて計8コマ(2~4日間)の集中講義 (日程は後日掲示板貼り出します。)
- 単位数 : 1単位
- 履修方法: うりぼーネットからの履修登録
(登録期間内)
- テーマ: 機械工学科における専門科目の各コース(熱流体, 材料物理, 制御, 設計生産)の講義において修得できる内容が将来どのように役立つかを解説する. 熱流体, 材料物理, 制御, 設計生産の4コースの中から計8コマの講義を行う.

英語特別講義

- 概要
 - ギャップタームの機会を生かして、海外留学や語学学習などにより英語力を向上させる活動を行う。
- 単位数 : 2単位
- 履修方法: 単位認定申請(うりぼーネットでの履修登録の必要なし。)
- 単位認定申請: (1) ギャップターム計画書を提出し, (2) ギャップターム終了後に, 申請書を, 活動報告書および活動を証明する添付資料とともに提出する。審査を経て単位認定を行う。
- その他必要と認める専門科目として卒業要件に算入

英語特別講義

単位認定の目安

海外留学

現地で5日間以上を過ごす海外留学を行った場合、その内容を報告する。現地での活動が約45時間となるものを1単位相当とする。大学が案内する海外留学プログラム、または民間企業が企画する海外留学プログラムを対象とするが、他の活動についても申請内容を見て判断する。

英会話学校

国内の英会話学校で45時間の英語学習を行った場合、1単位相当として認定する。英会話学校からのコース案内および証明書類などを添付書類とする。

TOEICまたはTOEFL-iBTの受験

ギャップターム期間中にTOEICまたはTOEFL-iBTを受験をし、以下の成績を修めたものについて単位認定する。成績証を添付書類とする。

TOEIC : 730点以上 TOEFL-iBT 79点以上	1単位相当
TOEIC : 830点以上 TOEFL-iBT 94点以上	2単位相当

英語特別演習の単位認定の申請書類

記入例 1

英語特別演習・機械工学インターンシップ 単位認定申請書

英語特別演習 または 機械工学イ
ンターンシップのいずれかを記載

申請者：学籍番号 16XX500T
氏名 神戸 太郎

⑤ 認定を希望する科目：英語特別演習

⑥ 活動実績一覧

開始日	終了日	活動内容	実活動時間	資料番号
2017/7/2	2017/7/9	海外留学（現地6日）	45時間	1
2017/6/10	2017/6/30	英会話学校（海外留学の準備）	20時間	2
2017/5/20	—	TOEIC（750点）	45時間	3
		総活動時間	90時間	-----

TOEIC または TOEFL-ibt で認定を受ける場合は、試験
名と受験日を記載し、スコアシートを添付

添付資料の右上に資料番号
を記載し、対応させる

有益と認められる45時間の活動をもって1単位を認定する

① ① ② ③

申請書の資料番号と対応

報告書

証明書などの添付資料
をつける。

機械工学インターンシップ

概要

ギャップターム期間を活かして機械工学に関する実地体験をし、知識や経験を高めるための活動を行う。

単位数 : 1単位

履修方法 : 単位認定申請(うりぼーネットでの履修登録の必要なし。)

(1)ギャップターム型インターンシップ

民間企業でインターンシップ活動を行う。

学生自身がインターンシップ情報を見て、企業への連絡、手続きなどを行う。

(2)研究室インターンシップ

機械工学科の研究室でインターンシップ活動を行う。

学生自身が機械工学科の各研究室の連絡先に内容を相談し、申請を行う。

単位認定申請:

ギャップターム終了後に、申請書を活動報告書および活動を証明する添付資料とともに提出する。審査を経て単位認定を行う。

その他必要と認める専門科目として卒業要件に算入

ギャップターム型インターンシップ

工学部では、ギャップターム期間の学外活動の1つとして国内企業でのインターンシップを想定し、工学部同窓会(KTC)協力のもと、学部2年生を受け入れてくれる企業リストを作成しました。本企業リストを通じてインターンシップ応募する場合、下記の注意事項を熟読し、内容を理解した上で応募し、学外活動に取り組んでください。

< 重要:応募に際しての注意事項 >

1. 応募する企業を決める際には、インターンシップ情報の「詳細情報」にあるインターンシップ日程、内容、研修場所、応募条件等について十分に検討してください。
2. インターンシップに参加するためには、事前に、学生教育研究災害傷害保険(学研災)とインターンシップ等賠償責任保険(学研災付帯賠償責任保険)に加入しておくことが必要です。加入申込みの用紙は教務学生係で受け取ることができます。
3. インターンシップに参加するための企業への連絡、手続き、など今後の作業は応募者自身が自己責任のもと行う必要があります。応募方法はインターンシップ情報の「詳細情報」を熟読してください。応募に当たっては、社会常識やマナーを遵守し、丁寧な連絡を心がけてください。
4. 企業からインターンシップへの参加が認められた場合、早めに教務学生係に「ギャップターム型インターンシップ参加届」を提出してください。その際、上記の保険に加入していることの確認も受けてください。

研究室インターンシップ

申込方法:

各研究室から提示された情報を参考にして、興味あるテーマがあれば当該教員に内容、期間、実施可能性について、直接相談してください。希望者は「研究室インターンシップ申請書」を受け入れ研究室の教員に直接提出し、受講許可をうける必要があります。

<注意>

履修には「**学生教育研究災害傷害保険**」および「**学研災付帯賠償責任保険**」に加入している必要があります。加入申し込みについては教務学生係まで問い合わせてください。

今年度(H29年度)の内容

研究分野	教員	キーワード	受入期間 (実績時間目安)	受入人数	連絡先 申請方法
MH1	山根, 片岡	人工心臓の軸受, 流れの可視化法; 流体中の波動現象の可視化, 数値シミュレーション	8月中(5日間); 7 or 8月中(2日間)	2人; 2人	山根隆志, yamane@mech.kobe-u.ac.jp, 5E410室まで; 片岡武, kataoka@mech.kobe-u.ac.jp 自1-602室まで
MH2	竹中, 浅野, 村川, 杉本	熱移動, エネルギー保存, 熱流体現象の実験・計測	6~7月で10日間	5人程度	浅野等, asano@mech.kobe-u.ac.jp 6/9 17時までに上記E-mailに申請
MH4	富山, 細川, 林	熱・流体エネルギー、環境、気泡、液滴、波、流体計測	7/26(水)~28(金) (8時間 x3日)	3人	林公祐, hayashi@mech.kobe-u.ac.jp 7/7までに機械事務室まで
MM1	阪上, 塩澤	赤外線サーモグラフィによる応力測定, 材料・構造物の非破壊検査, 逆問題, FEMによる応力解析	応相談	5~8名程度	塩澤, shiozawa@mech.kobe-u.ac.jp 6/9までにメールにて連絡のこと
MM2	中井, 田中 (拓), 菊池, 横田	フラクトグラフィ、マイクロマテリアル、複合材料、事故解析、疲労	7月中(5日間)	3人	菊池将一, kikuchi@mech.kobe-u.ac.jp 6/23までに機械事務室まで
MM3	向井, 田川, 藤居, 池尾	軽量構造材料、変形応答解析、宇宙材料、宇宙環境科学、X線回折逆空間解析、表面構造解析	受け入れなし		
MM4	田中(克), 長谷部, 寺本	新合金設計・溶製、力学特性評価、ナノ・マイクロ組織観察、変形・破壊・組織変化シミュレーション	8月中(4日間)	7人	寺本武司, teramoto@mech.kobe-u.ac.jp 6/23までに機械事務室まで
MA1	横小路, 田崎	ロボティクス, 制御工学, 遠隔操縦システム, パーチャルリアリティ, ロボットハンド, 移動ロボット	2Q中(10日間程度)時期は応相談	6名程度	田崎勇一, tazaki@mech.kobe-u.ac.jp 6/11までに上記メールアドレスまで
MA2	神野, 肥田	機能性デバイス、機能性薄膜、エナジーハーベスト、マイクロ流体デバイス	8月中(4日間)	4人	肥田博隆, hida@mech.kobe-u.ac.jp 6/1までに5E-406まで
MA3	白瀬, 佐藤, 西田	CAD/CAM、切削加工、数値制御、5軸制御工作機械	希望者と相談	最大5名	佐藤隆太, sato@mech.kobe-u.ac.jp 1Q中にメールにて連絡のこと
MA4	磯野, 菅野	MEMS、マイクロマシン、半導体プロセス技術、センサ・アクチュエータ設計	7~9月の期間中(計3日間程度)初日7月上旬, 中間8月, 最終日9月下旬	最大4名	菅野公二, sugano@mech.kobe-u.ac.jp 5/31までにEメールにて連絡のこと
MA5	田浦, 妻屋, 山田	製品コンセプト, 設計, CAD, グループワーク	7/31~8/3(4日間)	4人	kyamada@mech.kobe-u.ac.jp, 5/31までに山田(自3-406)にメール

機械工学科HPからダウンロード可能です。

・途中での放棄は認められない。
定員があるので、むやみな申請は行わない。

研究室インターンシップ申請書

学籍番号

氏名

申請書を提出

研究分野

実施期間

保険に加入していること

「学生教育研究災害傷害保険」加入者番号

「学研災付帯賠償責任保険」加入者番号

*インターンシップを実施する研究分野では、安全管理に従うこと。

*研究室の諸注意を順守すること。

研究室インターンシップ認定証

下記学生は、研究室インターンシップにおいて次の時間を修めたことを認定します。

学籍番号 氏名

単位認定の添付資料として提出

認定時間

教員名

印

高度教養科目

授業科目の 区分等	授業科目等	必要修得 単位数	
高度教養科目	工学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目のうち機械工学科開講科目	0~2	4
	工学部高度教養科目に関する内規別表に掲げる授業科目のうち建築学科，市民工学科，電気電子工学科，応用化学科，情報知能工学科，他学部及び国際教養教育院開講の高度教養科目	2~4	

- (2) 神戸大学工学部規則第7条第2項に規定する卒業研究を申請しようとする者は、以下の条件を全て満たした者とする。なお入学前の既修得単位の取り扱いは神戸大学工学部規則第10条に従う。
- (a) 基礎教養科目，総合教養科目，外国語科目，情報科目，健康・スポーツ科学の卒業に必要な単位をすべて修得している。
 - (b) 高度教養科目の修得単位数が2以上である。

うりぼーポータル上の情報

平成29年度 高度教養科目の開講科目一覧(平成29年1月現在)

<各種履修登録方法の注意>

①「(C)開講学部等の教務担当係窓口での事前申し込み」の結果確認について

科目の開講期	確認方法
1Q・2Q・前期	3/30(木)以降にうりぼーネット「履修登録」画面で確認してください。 申し込んだ科目が登録されていれば、履修できます。登録されていなければ、履修できません。
3Q・4Q・後期	申込時に開講部局の教務担当係窓口で確認してください。

※窓口での事前申し込みで履修が決定した科目は、削除できません。

②科目の開講期「1Q・2Q・前期」の科目を「(C)開講学部等の教務担当係窓口での事前申し込み」で履修を申し込み、さらに同一曜日・時間に開講される別の科目を「(A)抽選登録」する場合の手順

開講期「1Q・2Q・前期」の科目は、3/30(木)以降にうりぼーネット「履修登録」画面で事前申し込みの結果を確認してから抽選登録をしてください。
(開講期「3Q・4Q・後期」の科目は、上記①の方法で確認)
(C)窓口での事前申し込みと(A)抽選登録を重複して行った場合、(C)窓口での事前申し込み科目が優先され、(A)抽選登録はエラーになります。

③同一曜日・時間に開講される複数の科目を「(C)開講学部等の教務担当係窓口での事前申し込み」した場合、履修科目は、先に履修が決定し登録された科目となります。

④「(A)抽選登録」する場合、以下の点に注意してください。
「健康・スポーツ科学講義」、「基礎教養科目」、「総合教養科目」、「高度教養科目」のうち、複数の科目区分で同じ曜日・時間に開講される科目を抽選登録することは可能ですが、複数当選した場合は履修エラーとなり、**当選したどの科目も履修することができません。**
高度教養科目の履修を希望する場合は、同じ曜日・時間に開講される「健康・スポーツ科学講義」、「基礎教養科目」、「総合教養科目」の抽選登録は行わないでください。

<平成29年度開講科目>

開講学部等	授業科目名	履修できない学部・学科等	履修条件	単位数	開講期	曜日・時間	使用言語	時間割コード	開講形式	定員	履修登録方法 A：抽選登録 B：通常の履修登録 C：開講学部等の教務担当係窓口での事前申し込み D：初回授業に出席申し込み	担当教員	特記事項
文学部	グローバル・アクティブ・ラーニングA	該当なし	核問題・戦争と平和」をめぐるワークショップ（留学生や現地大学生などとの英語・日本語での議論）及び事後報告会に積極的に参加する意志をもっている者。	1	後期集中	未定	日本語	未定	演習形式	文学部生15 その他5	C： ※詳細は後日	嘉指 信雄	隔年開講
	English Summer Lectures in Humanities B	該当なし	英語で読む、聞く、書く、話す意欲をもつこと。	1	前期集中	未定	英語	未定	講義形式	文学部生40 その他10	C： ※詳細は後日	山本 秀行	隔年開講

H29年度工学部開講科目

開講学部等	授業科目名	履修できない学部・学科等	履修条件	単位数	開講期	曜日・時限	使用言語	時間割コード	開講形式	定員	履修登録方法 A：抽選登録 B：通常の履修登録 C：開講学部等の教務担当係窓口での事前申し込み D：初回授業に出席し申し込み	担当教員	特記事項
工学部	学際工学英語特別講義 I	該当なし		1	前期集中	9月集中講義(予定)	日本語・英語	未定	講義形式	工学部生100名 他学部生 50名	B	福岡孝則	
	学際工学英語特別講義 VI	該当なし	プログラミングの経験があること。	1	前期集中	8/21~24	日本語・英語	未定	講義形式	工学部生60名 他学部生15名	A	Philippe Lalanda (世話人：中村)	

H30年度機械工学開講

開講学部等	授業科目名	履修できない学部・学科等	単位数	開講期	特記事項
工学部機械工学科	機械工学と人間社会	<u>工学部機械工学科</u>	1	3Q	
工学部機械工学科	高度教養セミナー工学部(機械工学)	該当なし	1	4Q	

履修できない！

履修できる！

うりぼーネットから履修登録